

■株主メモ

決算期	3月31日
定時株主総会	6月
期末配当金支払株主確定日	3月31日
中間配当金支払株主確定日	9月30日
公告の方法	電子公告 当社ホームページ（下記URL）に掲載 http://www.jti.co.jp/ ※やむを得ない事由により、電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
同事務取扱場所	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 フリーダイヤル 0120-232-711 (受付時間 土・日・祝日を除く 9:00~17:00)
同取次所	三菱UFJ信託銀行株式会社 全国各支店 野村證券株式会社 全国本支店
各種手続用紙のご請求	住所変更、配当金振込指定・変更に必要な各用紙及び株式の相続手続依頼書のご請求は、株主名簿管理人のフリーダイヤル(0120-244-479)で24時間承っておりますので、ご利用ください。



Welcome to the Delight World Vol.17



業績報告書

CONTENTS

2007年3月期決算のご報告（2006年4月1日から2007年3月31日まで）

この人に煙草あり。／小泉八雲

特集

- 国内たばこ事業のご紹介
- ギャラハー社の買収について

2006/07 V・プレミアリーグ

株主優待商品のご案内

JT商品のご案内

- ルーツ「シンバウインド」 新発売
- 「天晴（あっぱれ）」 好評発売中
- 「中華deごちそう」シリーズ「ひとくち餃子」 リニューアル
- 「お弁当大人気！」シリーズ「まるごとえびクリーム」 好評発売中

ニュース掲示板

株式の諸手続について

日本たばこ産業株式会社

〒105-8422 東京都港区虎ノ門2-2-1 JTビル

電話：03-3582-3111

<http://www.jti.co.jp/>



この業績報告書はエコマーク認定の再生紙（古紙100％）を使用するとともに、大豆油インキを使用しています。



2007年3月期 決算のご報告



ご
あ
い
さ
つ

株主の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。
また、平素より当社の事業運営に格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

2007年3月期決算は、国内たばこ事業における単価上昇やコスト削減、
海外たばこ事業の利益成長などにより、EBITDA（営業利益＋減価償却費）、
営業利益、経常利益、当期純利益について、最高益を更新しました。
また、EBITDA、営業利益、経常利益については、6期連続の増益となり、
中期経営計画「JT2008」の初年度は、順調なスタートを切りました。

なお、昨年12月15日に、当社は英国のたばこ会社である
ギャラハー社を完全子会社化する手続きを開始することを発表しましたが、
本年4月18日に手続きを完了し、当社子会社となりました。
当社は中期経営計画「JT2008」の中で、海外たばこ事業、
食品事業を中心とした外部資源の獲得による成長機会の探索を掲げており、
今回の買収はその戦略を具体化したものです。
これまで、当社は世界第3位のたばこ会社に位置してはいるものの、
上位2社とは大きな差がありました。しかしながら、
今回のギャラハー社の買収により、世界第3位の地位は強固なものとなりました。
今後ともたばこ業界のリーディングカンパニーとして、
更なる持続的成長を目指してまいります。

株主の皆様におかれましては、当社の事業運営につきまして、
より一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2007年6月
代表取締役社長

木村 宏

2007年3月期決算の概要

2007年3月期決算は、表1をご覧くださいと
おり、増収・増益となりました。

売上高については、国内たばこ事業において
販売数量が減少したものの、海外たばこ事業の
着実な成長などにより全体としては増収となり
ました。利益面については、国内たばこ事業に

おける単価上昇やコスト減、海外たばこ事業の
利益成長などにより、EBITDA（営業利益＋減
価償却費）、営業利益、経常利益、当期純利益に
ついて、最高益を更新しました。また、EBITDA、
営業利益、経常利益については、6期連続の増
益となりました。

■表1 2007年3月期決算

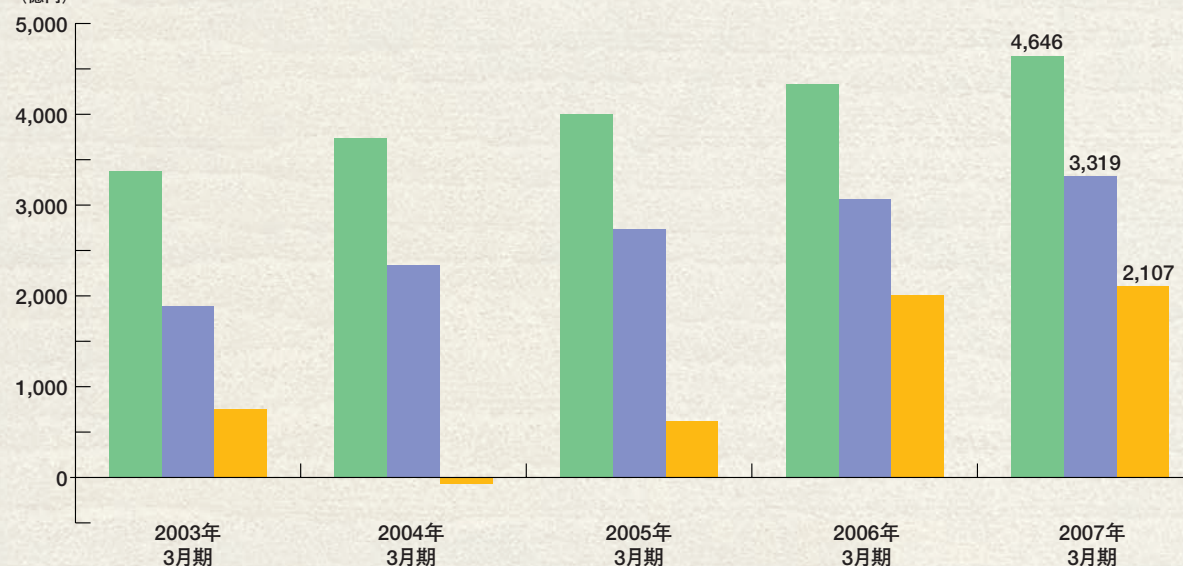
（単位：億円）

	2006年3月期実績	2007年3月期実績	増減
税込売上高	46,376	47,693	1,317
税抜売上高	20,087	20,510	422
EBITDA ^(注)	4,333	4,646	312
営業利益	3,069	3,319	250
経常利益	2,978	3,120	142
当期純利益	2,015	2,107	92

（注）EBITDA＝営業利益＋減価償却費

■図1

（億円）



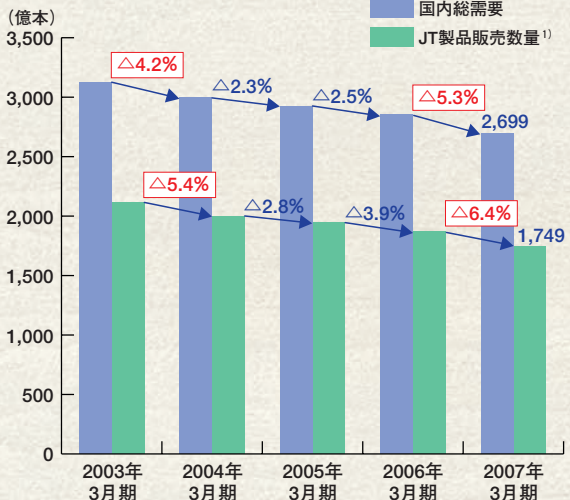
（注）EBITDA＝営業利益＋減価償却費

各事業の概要

国内たばこ事業

国内たばこ事業については、昨年7月の増税の影響を受け、国内総需要及びJT販売数量は減少しました。図2のとおり、対前年の減少率は、2003年7月の増税時と比較すると、厳しさを増す喫煙環境を背景として、拡大しました。しかしながら、足元の状況には明るい兆しが現

■図2 販売数量実績



■表2 国内たばこ事業実績

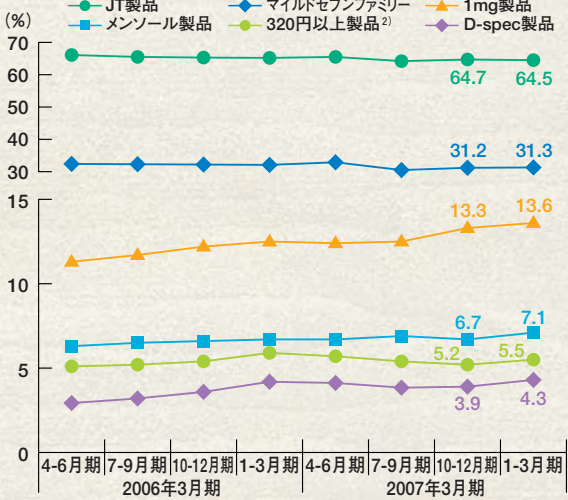
	2006年3月期実績	2007年3月期実績	増減
税抜売上高	11,732	11,472	△ 260
営業利益	2,200	2,453	252

海外たばこ事業

海外たばこ事業は、引き続き好調に推移し、総販売数量はグローバル・フラッグシップ・ブランド (「キャメル」、「ウinston」、「マイルドセブン」、「セラム」、以下GFB) の11%

れています。図3のとおり、マイルドセブン・ファミリーのデザイン変更や、地域限定で発売した新製品の拡販等により、1-3月期には、全体の数量が減少する中でシェアを増やしている高単価・高付加価値の製品セグメントである伸張セグメント (1mg製品、メンソール製品、320円以上製品) においてシェアを増加させるとともに、マイルドセブン・ファミリーのシェアも足元では回復傾向にあります。

■図3 JT製品の市場シェア¹⁾



の成長に牽引され、対前年比9%増加し、2,400億本に達しました。GFBは総販売数量の62%を占めるに至っています。

ブランド別には、「キャメル」がイタリアとフランスで、「ウinston」がロシア、スペイン、イラン、トルコ、ウクライナで、「マイルドセブン」がロシアで伸張しました。

■表3 海外たばこ事業実績

	2006年3月期実績	2007年3月期実績	増減
税抜売上高	4,843	5,503	660
営業利益	710	810	100

※海外たばこ事業実績は2006年1-12月期を連結

医薬事業

医薬事業については、研究開発の進展に伴う、

研究開発費の増加や、鳥居薬品の減益影響、臨床開発品の導出に伴う一時金収入が、前年度に比べ少なかったこと等により、減収・減益となりました。

■表4 医薬事業実績

	2006年3月期実績	2007年3月期実績	増減
売上高	492	454	△ 38
営業利益	△ 50	△ 112	△ 61

■医薬事業 臨床開発品目 (2007年4月27日現在)

開発名	開発段階	適応症	詳細	権利
JTT-705 (経口)	国内:Phase1	脂質代謝異常	HDL (高密度リポ蛋白:善玉コレステロール) 中のコレステロールをLDL (低密度リポ蛋白:悪玉コレステロール) に転送するCETPを阻害することにより、血中HDLを増加させる脂質代謝異常治療薬	スイスのロシュ社へ日本を除く全世界の開発・商業化権を導出
JTT-130 (経口)	国内:Phase2 海外:Phase2	高脂血症	MTPを阻害することにより、コレステロール及びトリグリセリドの吸収を抑制し、脂質値を低下させる高脂血症治療薬	
JTK-303 (経口)	国内:Phase1	HIV	HIV (ヒト免疫不全ウイルス) の増殖に関わる酵素であるインテグラーゼの働きを阻害するインテグラーゼ阻害剤	米国ギリアド・サイエンシズ社へ日本を除く全世界の開発・商業化権を導出
JTT-302 (経口)	海外:Phase2	脂質代謝異常	HDL (高密度リポ蛋白:善玉コレステロール) 中のコレステロールをLDL (低密度リポ蛋白:悪玉コレステロール) に転送するCETPを阻害することにより、血中HDLを増加させる脂質代謝異常治療薬	
JTT-305 (経口)	国内:Phase2 海外:Phase1	骨粗鬆症	副甲状腺細胞のCaSRに作用し、血中Caの感知を阻害することで副甲状腺ホルモンの分泌を促し、骨の代謝回転を高めることにより骨形成を促進する骨粗鬆症治療薬	
JTT-551 (経口)	国内:Phase1 海外:Phase1	2型糖尿病	インスリンシグナル伝達を真に制御するPTP1Bを阻害することにより、インスリンの作用を増強し、血糖を低下させる糖尿病治療薬	
JTT-552 (経口)	国内:Phase1	高尿酸血症	腎臓における尿酸の再吸収に関与するURAT1の働きを阻害することにより、尿中への尿酸排泄を促進させ、血中尿酸値を低下させる高尿酸血症治療薬	

前回 (2007年2月8日) 公表時からの変更点: JTT-302 海外臨床試験 Phase1からPhase2へ移行

食品事業

食品事業については、飲料事業における自動

販売機販路の拡大、及び「ルーツ」の堅調な伸張に加え、加工食品事業における、冷凍加工食品及びチルド加工食品の事業規模の拡大により、増収・増益となりました。

■表5 食品事業実績

(単位：億円)

	2006年3月期実績	2007年3月期実績	増減
売上高	2,783	2,865	81
営業利益	63	67	3

配 当

配当については、中期経営計画「JT2008」で掲げたとおり、中長期的な成長戦略の実施状況や連結業績見通しを踏まえつつ、資本市場における競争力ある株主還元を目指すことを基本方針とし、当面、連結配当性向20%を目指し、配当水準の向上を図っていきます。

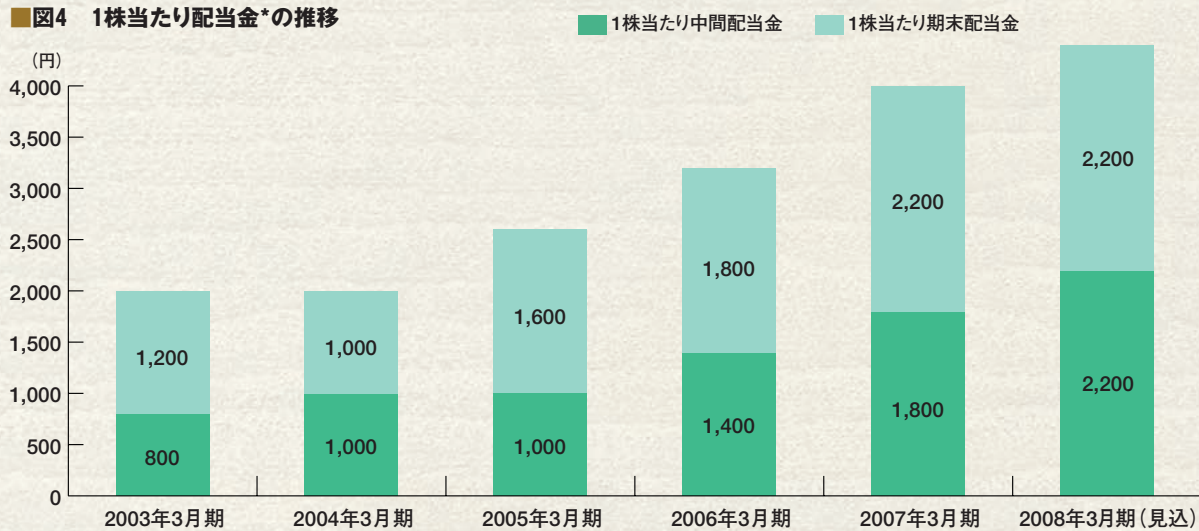
連結配当性向については、2009年3月期以降、想定されるのれん代の償却の影響を除いた当期

純利益を基準とします。

なお、2007年3月期の期末配当金については、1株当たり2,200円とし、中間配当金と合わせ、年間配当金は1株当たり4,000円とさせていただきました。

2008年3月期については、年間で1株当たり4,400円を見込んでいます。

■図4 1株当たり配当金*の推移



*2006年4月1日を効力発生日として、1株につき5株の割合で株式分割を実施しており、2006年3月期以前の実績は遡及して修正

2008年3月期業績予想

2008年3月期の業績予想については、国内たばこ事業における販売数量の減少を、海外たばこ事業の自律的トップライン成長、食品事業の規模拡大などが補完し、増収となる見込みです。

EBITDA（営業利益＋減価償却費）、営業利益については、海外たばこ事業の自律的な利益成長を見込むものの、国内たばこ事業における販売数量の減少、原材料費・販促費の増加等により、減益を予想しています。経常利益・当期純利益は、上記に加え、ギャラハー社の買収に

関連した金融損益の悪化等により、減益を見込んでいます。

なお、本年4月18日、ギャラハー社の買収を完了していますが、2008年3月期の連結業績予想については、ギャラハー社分を織り込まない数値としています。（資金調達に関連する費用は織り込み済です。）ギャラハー社を含む連結業績予想については、公表可能となり次第、速やかに公表します。

■表6 2008年3月期業績予想

(単位：億円)

	2007年3月期実績	2008年3月期見込 ^(注2)	増減
税込売上高	47,693	48,900	1,206
EBITDA ^(注1)	4,646	4,490	△ 156
営業利益	3,319	3,120	△ 199
経常利益	3,120	2,820	△ 300
当期純利益	2,107	1,860	△ 247

(注1) EBITDA＝営業利益＋減価償却費

(注2) 2008年3月期の連結業績予想は、ギャラハー社分を織り込まない数値(資金調達に関連する費用は織り込み済)

●将来に関する記述等についてのご注意

本資料に記載されている、当社又は当社グループに関連する業績見通し、計画、方針、経営戦略、目標、予定、事実の認識・評価等といった、将来に関する記述は、当社が現在入手している情報に基づく、本資料の日付時点における予測、期待、想定、計画、認識、評価等を基礎として記載されているに過ぎません。また、見通し・予想数値を算定するためには、過去に確定し正確に認識された事実以外に、見通し・予想を行うために不可欠となる一定の前提（仮定）を使用しています。これらの記述ないし事実または前提（仮定）については、その性質上、客観的に正確であるという保証も将来その通りに実現するという保証もありません。また、あらたな情報、将来の事象、その他の結果にかかわらず、常に当社が将来の見通しを見直すとは限りません。これらの記述ないし事実または前提（仮定）が、客観的には不正確であったり将来実現しないという可能性の原因となりうるリスクや要因は多数あります。その内、現時点で想定される主な

ものとして、以下のような事項を挙げることができます（なお、かかるリスクや要因はこれらの事項に限られるものではありません）。

- (1) 喫煙に関する健康上の懸念の増大
- (2) たばこに関する国内外の法令規則による規制等の導入・変更（増税、たばこ製品の販売、マーケティング及び使用に関する政府の規制等）、喫煙に関する民間規制及び政府による調査の影響等
- (3) 国内外の訴訟の動向
- (4) 国内たばこ事業、海外たばこ事業以外へ多角化する当社の能力
- (5) 国際的な事業拡大と、日本国外への投資を成功させる当社の能力
- (6) 市場における他社との競争激化、銘柄嗜好の変化
- (7) 買収やビジネスの多角化に伴う影響
- (8) 国内外の経済状況
- (9) 為替変動及び原材料費の変動

連結財務諸表

連結貸借対照表

(単位:百万円)			
科 目	前連結会計年度 (2006年3月31日)	当連結会計年度 (2007年3月31日)	増減金額
資産の部			
流動資産	1,608,154	1,840,808	232,653
固定資産	1,429,180	1,523,855	94,674
有形固定資産	596,544	600,435	3,891
建物及び構築物	238,049	229,019	△ 9,030
機械装置及び運搬具	144,604	152,900	8,296
土地	138,671	131,817	△ 6,853
その他	75,217	86,698	11,480
無形固定資産	579,519	542,880	△ 36,638
連結調整勘定	355,183	—	△ 355,183
のれん	—	360,681	360,681
商標権	190,587	154,980	△ 35,606
その他	33,748	27,218	△ 6,530
投資その他の資産	253,117	380,538	127,421
繰延資産	44	—	△ 44
資産合計	3,037,378	3,364,663	327,284

(注)記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

事業活動、及び期末日休日による未払たばこ税の増加により、現金及び預金が増加したためです。

財務諸表等規則等の改正に伴い、従来「連結調整勘定」と表示していた勘定項目を「のれん」に変更しています。

ギャラハー社株式の市場購入により、投資有価証券が増加しています。

(単位:百万円)			
科 目	前連結会計年度 (2006年3月31日)	当連結会計年度 (2007年3月31日)	増減金額
負債の部			
流動負債	626,355	813,196	186,841
固定負債	590,950	526,851	△ 64,099
負債合計	1,217,305	1,340,047	122,741
少数株主持分			
少数株主持分	57,561	—	△ 57,561
資本の部 ◀			
資本金	100,000	—	△ 100,000
資本剰余金	736,400	—	△ 736,400
利益剰余金	972,511	—	△ 972,511
その他有価証券評価差額金	35,531	—	△ 35,531
為替換算調整勘定	△ 7,353	—	7,353
自己株式	△ 74,578	—	74,578
資本合計	1,762,511	—	△ 1,762,511
負債、少数株主持分及び資本合計	3,037,378	—	△ 3,037,378
純資産の部 ◀			
株主資本	—	1,920,159	1,920,159
評価・換算差額等	—	40,094	40,094
少数株主持分	—	64,362	64,362
純資産合計	—	2,024,615	2,024,615
負債及び純資産合計	—	3,364,663	3,364,663

(注)記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

主に期末日休日による未払たばこ税が増加したためです。

昨年5月より施行された「会社法」で貸借対照表の「資本の部」が廃止され、代わりに「純資産の部」が新設されました。

連結損益計算書

(単位:百万円)			
科 目	前連結会計年度 (2005年4月1日から 2006年3月31日まで)	当連結会計年度 (2006年4月1日から 2007年3月31日まで)	増減金額
売上高	4,637,657	4,769,387	131,730
売上原価	3,734,073	3,844,768	110,694
売上総利益	903,583	924,619	21,035
販売費及び一般管理費	596,636	592,628	△ 4,008
営業利益	306,946	331,991	25,044
営業外収益	12,655	16,033	3,377
営業外費用	21,759	35,980	14,220
経常利益	297,842	312,044	14,202
特別利益	65,453	50,854	△ 14,598
特別損失	62,302	25,703	△ 36,598
税金等調整前当期純利益	300,993	337,195	36,202
法人税、住民税及び事業税	49,686	84,480	34,794
法人税等調整額	45,209	36,923	△ 8,285
少数株主利益	4,555	5,018	463
当期純利益	201,542	210,772	9,230

(注)記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

国内たばこ事業における販売数量の減少があったものの、海外たばこ事業における販売数量の増加等により増収となりました。

国内たばこ事業における定価改定に伴う販売単価の上昇及びコスト削減、海外たばこ事業における利益成長等により増益となりました。

ギャラハー社買収に向けた資金調達に関連する費用が発生したことにより、営業外損益が悪化しました。

固定資産売却損が減少したこと等により、特別損益が改善しました。

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)			
科 目	前連結会計年度 (2005年4月1日から 2006年3月31日まで)	当連結会計年度 (2006年4月1日から 2007年3月31日まで)	増減金額
営業活動によるキャッシュ・フロー	150,342	435,958	285,615
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 26,357	△ 149,692	△ 123,334
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 48,134	△ 32,634	15,500
現金及び現金同等物に係る換算差額	15,204	5,749	△ 9,455
現金及び現金同等物の増減額	91,054	259,380	168,325
現金及び現金同等物の期首残高	829,087	920,141	91,054
現金及び現金同等物の期末残高	920,141	1,179,522	259,380

(注)記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

たばこ事業による安定したキャッシュ・フローの創出力に加え、未払たばこ税等の増加、希望退職施策による退職金の支払の減少等によるものです。

この人に
煙

草あり。



小泉八雲

煙管を吸って、法螺貝を鳴らす—— 日本人以上の日本好き

妻

・節子の『思ひ出の記』に、八雲の好き嫌いに関して書かれている箇所がある。

「ヘルンの好きな物をくりかえして、列べて申しますと、西、夕焼、夏、海、游泳、芭蕉、杉、淋しい墓地、虫、怪談、浦島（註・浦島太郎）、蓬莱（註・仙人の住む霊山）などございました。場所では、マルティニーク（註・西インド諸島）と松江、美保の関、日御崎、それから焼津、食物や嗜好品ではビステキ（原文ママ）とプラムプーデン、と煙草。嫌いな物は、うそつき、弱いもの苛め、フロックコートやワイシャツ、ニュ・ヨーク（原文ママ）、その外色々ありました。……」

これを読むと八雲はたばこ好きだったことが見て取れる。そして、ここが可笑しいというか、八雲は「法螺貝」をいつも手元に置いた。「これを吹くと、太い好い音がする」と喜び、煙管の火が消えると、法螺貝を吹いてそれを知らせることにした。八雲は仕事に集中しているときは少しの音も嫌ったため、節子をはじめ家の者は音を立てぬよ

うに気を遣っていたが、そんなときに突然「ポオー、ウオー」と法螺貝が鳴り響くのである。いわば茶目っ気であろうか。

そんな八雲は、日本人以上に日本を愛した。伝統・習俗など、田舎であればあるほど好きで、帰宅すると、すぐ浴衣に着替えてくつろぐような生活ぶりであった。となれば、好きなたばこも日本式の煙管で吸いたい。来日以来、煙管に魅せられ、集めた煙管の数100本以上という。

八雲の生地は、ギリシャのレフカダ島であった。その後、父の生地アイルランドへ移住したり、父母の離婚があったり、フランスの神学校に行ったり、片目を失明したりと、人生の悲哀を受け続けた。来日は40歳のときである。契約している雑誌の記事を書くために日本に来たのだが、会社とのトラブルで職を辞し、知己であった文部省学務局長の服部一三などの斡旋で、英語教師の職に就く。

『思ひ出の記』で節子は、八雲のことを「ヘルン」と書いている。本来は「ハーン」の呼び

方だが、松江に赴任のとき「ヘルン」と誤記され、それが気に入ってそう呼ばせたのである。本人も、自伝「小泉八雲」の副題に「ラフカディオ・ヘルン」とつけているほどだから、よっぽど気に入っていたのだろう。

日本の文化習俗が好きだった八雲は、反面、文明開化後の日本の舶来指向を「耶蘇のために、日本の物を壊す」と言って西洋風を嫌った。ワイシャツやフロックコートを「なんぼ野蛮の物」と言った八雲は、珍しい感性の持ち主だったが、それだけに純な精神性によって生きた。

節子が子どもに水に沈められて虐められていた子猫をもらってくると、「お、可哀想の子猫（原文ママ）むごい子供ですね——」と濡れたままの子猫を懷に入れて温める。「面白い時には世界中が面白く、悲しい時には世界中が悲しい」（節子）といった八雲の精神世界は、とにかく弱いものに対する優しさで貫かれていた。

『グレート・スモーカー 歴史を変えた愛煙家たち』（祥伝社新書）より一部転載
写真提供 毎日新聞社

Koizumi Yakumo
(1850年－1904年)

1850年 ギリシャで生まれる
1890年 来日
1891年 松江の士族の娘、小泉節子と結婚
1896年 日本に帰化し「小泉八雲」と名乗る

小泉八雲——日本研究家、小説家・随筆家。英語教師として松江や熊本、後に東京帝大、早大で教鞭を執る。代表作は『怪談』『心』『日本雑録』など。旧名はパトリック・ラフカディオ・ハーン。

国内たばこ事業のご紹介

●たばこのいやなにおいを抑える世界初の技術に挑む。

D-spec

誕生までの流れ

「これからは、たばこを吸われる方々だけでなく、たばこを吸われない方々にとっても、たばこの何が問題なのかを考えなくてはいけない」と考えたJTは、「たばこのいやなにおいを低減する」という技術の開発に着手。2003年2月、いやなにおいを抑えたたばこ「D-spec」商品、「ルーシア」をデビューさせました。

1996年3月 ●たばこの「いやなにおい」を突き止める

「たばこのいやなにおいを低減する」という前代未聞のテーマに向けての第一歩は、研究開発の指針を固めることでした。「香料を混ぜてたばこのにおいを分からなくする」のではなく、「たばこの何がくさいのか」を根本的な問題の解決と定め、研究に着手しました。

たばこの煙成分は数千種といわれ、「複雑すぎて分からない」というのが定説でしたが、あえていやなにおいの成分を突き止め、効果的にマスキングする技術を開発することにしました。たばこのにおいを嗅ぎ続けた結果、1年半の作業を経て「強いにおい」の原因成分を特定しました。

●たばこ中央研究所 次長 東 信和



1998年秋 ●少ない香料で「いやなにおい」だけを抑える

この「強いにおい」を少なくする方法論を見出すために、「強いにおい」だけを選択的にマスキングしていけば、たばこ本来の味を保ちつつ、いやなにおいを少なくできるのではないかと、という結論に達しました。そして1年後にマスキング香料である「シトラスフレーバー」が考案されました。

地道な作業の結果、ある柑橘系（果実）の抽出液に大きなマスキング効果があることが分かりました。その柑橘系（果実）の香り成分の中から、なるべく少ない量でマスキング効果が機能する有効成分を絞り込む作業を開始し、ほのかに柑橘系の香りがしながら、たばこの香気味もそれほど失われない香料の開発に成功。その香料を「シトラスフレーバー」と名付けました。

●たばこ中央研究所 開発研究員 大森 史裕



2000年3月 ●扱いにくい香料を上手く閉じ込める

「シトラスフレーバー」をどのように添加するかが課題となりました。マスキング効果を発揮する最低加香量と、たばことしての香気味が許容できる最大加香量のバランスをとる方法は何か——。難題に多くの社員が挑みました。さらに2000年11月には「ルーシア」というネーミングが決定。香料定着のために2枚の巻紙を使用した「二重巻紙」の採用や、商品を安定的に製造するための検査方法の開発など、ぎりぎりの調整を続けました。

シトラスフレーバーはオイル状で、たばこに添加すると揮発してしまいます。揮発しない方法を見つけ出すために試行錯誤を重ね、マイクロカプセルに香料を閉じ込める技術を開発しました。これにより必要最小限の量でマスキング効果を発揮することが可能となりました。

●技術研究開発部 シニア研究開発員 田淵 洋己



2003年2月 ●ついに「D-spec」完成。そして今後の展開

全社を挙げて挑んだ「ルーシア」はついに発売されました。それは、部門を横断した社員たちの知恵と努力の結果でした。

幾多の課題を克服し、「いやなにおいが気にならない」「ルーシア」をデビューさせました。その後、新たなカテゴリーとしての名称を「D-spec」と命名しました。マスキング香料も、シトラスフレーバーに加え、フルーティ香料、バニラ香料が開発され、多くのお客様から絶賛の声をいただいております。

●商品グループブランドマネージャー 石沢 隆志



いごち full 宣言。

マイルドセブンは、1977年に発売し、翌年に国内シェアNo.1となって以来、

現在までの29年間常に首位を続けており、

世界でもシェア第2位であるなど、我が国を代表するブランドです。

「マイルドセブン」が今年6月に発売30周年を迎えるにあたり、

当社では「マイルドセブン」ファミリーの世界観を“いごちの良さ”ととらえ、

これをキーワードに更なるブランド価値の向上を目指していきます。



おかげさまで30周年

MILD SEVEN



ギャラハー社の買収について

英国ギャラハー社の買収については、2006年12月15日に買収提案を発表して以来、その手続きを進めてきましたが、2007年4月18日に本買収が完了しました。

ギャラハー社は同日付けで上場廃止となり、当社子会社となりました。買収総額は約75億ポンド（約1兆7,200億円）、純有利子負債を含めた買収総額は約94.4億ポンド（約2兆1,800億円）となりました。

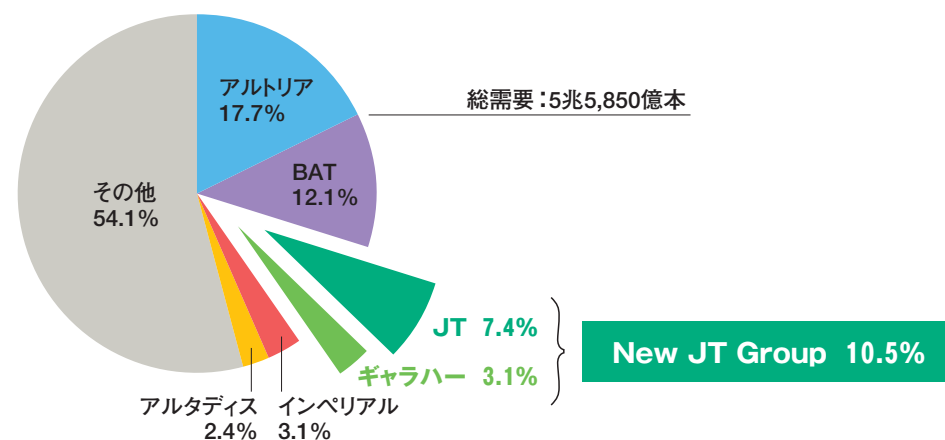
買収意義

■主要たばこの世界シェアについて

当社は世界第3位、ギャラハー社は世界第5位のグローバルたばこメーカーでした。市場シェアは2005年実績で、JTが7.4%、ギャラハー社が3.1%、合計シェアは10.5%となります。JTとギ

ャラハー社の市場シェアを合計したシェアNo.2以上の主要市場は、計10市場となります。この両社の地理的補完性は、ギャラハー社買収を決定する上での重要な要素の一つとなりました。

●主要たばこ会社の世界シェア(2005年)



●シェアNo.2以上の主要市場数の大幅増加



■JTの世界的ブランド・ポートフォリオの強化

もう一つの重要な要素は、両社のブランド・ポートフォリオの相互補完性です。ギャラハー社はBenson & Hedges、Silk Cut、SobranieおよびLD等の強力なブランドを有しています。

また、ギャラハー社は紙巻たばこの他に、手巻きたばこ、シガー、パイプたばこ、スヌースといった、いわゆるその他たばこ製品の分野においても有力ブランドを有しています。ギャラハー社を買収することで、当社のブランド・ポ

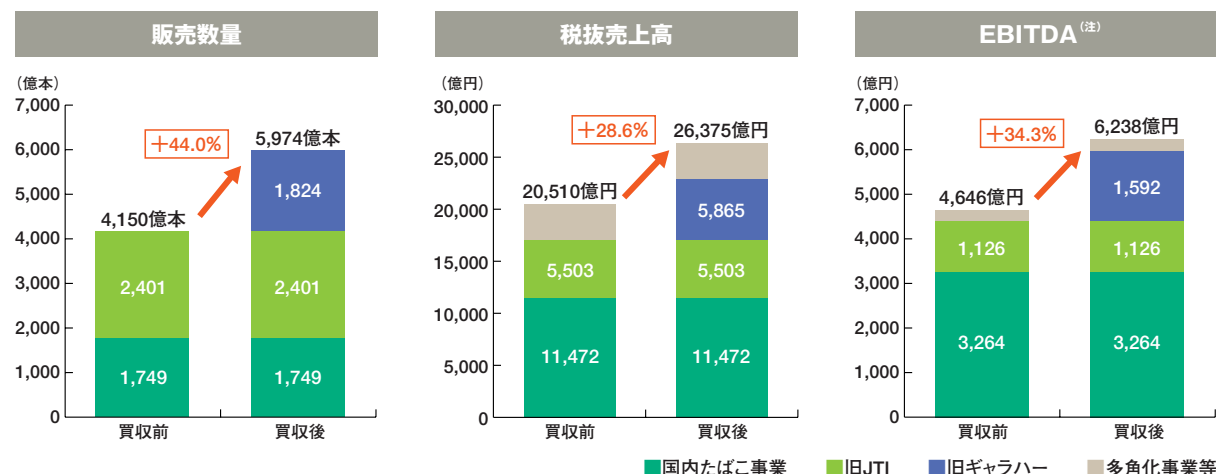
ートフォリオは広がり、より多様なお客様の嗜好に対応することが可能になると考えています。

当社は、本件買収により、世界第3位のたばこ会社としての地位をより強固なものにすることができます。また、アジアでの強い事業基盤に加え、欧州・CIS地域でのプレゼンスが高まり、高い成長機会を持つ地理的バランスのとれたたばこ業界のリーディングカンパニーとして、更なる持続的成長を目指します。

業績に与える影響

ギャラハー社の2006年度業績と当社の2007年3月期の実績を単純合算すると、たばこ税売上高は、買収前は2兆510億円ですが、買収後には2兆6,375億円と28.6%増加します。EBITDA（営業利益+減価償却費）は、買収前は4,646億円ですが、買収後には6,238億円となり、34.3%増加

します。従来、JTの利益構成は、国内たばこ事業に大きく依存していましたが、海外たばこ事業の比率が大幅に高まり、国内たばこ事業と並ぶ収益の柱となります。これにより、事業別構成比は改善され、収益の安定性、成長性が更に増すものと考えています。



(注) EBITDA＝営業利益＋減価償却費

統合効果の早期実現

今回の買収では「規模の拡大」「相互補完性」「技術・流通インフラの強化」等の統合効果が見込まれます。事業統合によって得られる「シ

ナジー効果」を早期かつ最大限に発揮できるよう、グループ体制の構築に努めてまいります。

●バレーボール●

ご声援ありがとうございました！

2006/07 V・プレミアリーグ

JTマーヴェラス(女子)準優勝、JTサンダーズ(男子)5位



過去最高の成績 準優勝に

JTマーヴェラス

レギュラーラウンドを2位で通過し、初優勝をかけ
ファイナルラウンド・優勝決定戦に出場したJTマーヴェラス。
惜しくもフルセットの末に久光製薬スプリングスに敗れ、
準優勝で「2006/07 V・プレミアリーグ」を終了しました。
JTマーヴェラスは、さらなるチーム強化を図り、
より強固な全員バレーで、来シーズンのV・プレミアリーグ初制覇に挑みます。
引き続き温かいご声援をよろしくお願いいたします。



V・プレミアリーグ女子 最終順位

- 1位 久光製薬スプリングス
- 2位 JTマーヴェラス
- 3位 パイオニアレッドウィングス
- 4位 武富士バンブー
- 5位 NECレッドロケッツ
- 6位 東レアローズ
- 7位 デンソーエアリービーズ
- 8位 岡山シーガルズ
- 9位 日立佐和リヴァーレ
- 10位 トヨタ車体クインシーズ



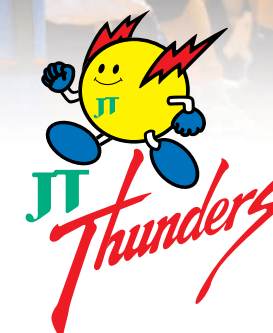
1月6日に開幕し、熱戦を繰り広げたV・プレミアリーグが4月15日に終幕しました。
JTサンダーズ、JTマーヴェラスの約3か月に渡る健闘の結果をご報告します。



5年連続のファイナルラウンド進出に惜しくも届かず

JTサンダーズ

JTサンダーズは「2006/07 V・プレミアリーグ」の
レギュラーラウンドを14勝14敗の5位で終了し、
5年連続のファイナルラウンド進出を惜しくも果たせませんでした。
この悔しさを糧に、さらなるチーム強化を図り、
チーム一丸となって来シーズンに挑みます。
引き続き温かいご声援をよろしくお願いいたします。



V・プレミアリーグ男子 最終順位

- 1位 サントリーサンバース
- 2位 東レアローズ
- 3位 パナソニックパンサーズ
- 4位 豊田合成トフェルサ
- 5位 JTサンダーズ
- 6位 堺ブレイザーズ
- 7位 NECブルーロケッツ
- 8位 大分三好ヴァイセアドラー

株主優待商品のご案内



JTグループは、あらゆる活動を通じて、ステークホルダーの皆様に「かけがえのないデライト (Delight)」＝「期待を超える驚き、歓びといった、JTならではの付加価値」を提供することを目指しています。

今回の優待商品では、コーヒーの「ルーツ」を基幹ブランドとして、独自技術に裏打ちされた差別性とクオリティにこだわる飲料事業より、厳選された商品を皆様にお届けします。

JTのこだわりの商品を、ぜひともご賞味ください。



ルーツ「アロマブラック 300gボトル缶」

「豊かな香り」と「キレのある後口」が楽しめる、ルーツ「アロマブラック」が更に豊かなアロマでリニューアル。300g缶



ルーツ「アロマブラック 微糖」

大好評の「ルーツ アロマブラック」に新ラインナップ。ほろ甘く、ほろ苦い、何杯でも飲める微糖タイプのブラックコーヒー。275g缶



ルーツ「シンバウインド」

ルーツ「リアルブレンド」シリーズから、力強く爽快なアロマを実感できる缶コーヒー「シンバウインド」が登場！190g缶



セノビー SENOBY

カラダにうれしいナチュラル素材「植物性乳酸菌」と純水を使用したカルシウム入りの乳性飲料。500mlペットボトル



桃の天然水

初代の味とパッケージを再現した「桃の天然水」 復刻版！500mlペットボトル



ルーツ「ビットスタイル 微糖」

飲み応えあるしっかりとした味わいを糖類77%カットで実現。からだにうれしい新微糖缶コーヒー。165g缶



ギャバ クール ウォーター GABA COOL WATER

香味変更し、後味スッキリ。GABA50mg配合の高機能性飲料。500mlペットボトル



大地が磨いたきれいな水

山系の地層で磨かれた天然の水を自然そのままパックしたナチュラルミネラルウォーター。520mlペットボトル



ルーツ「デミタス ベルベットタッチ」

クリームとコーヒーの味わいに、隠し味に蜂蜜を加え更にキレをアップした、小容量デミタスタイプの缶コーヒー。170g缶



マンゴープリン

人気のアジアンスイーツ「マンゴープリン」を、JTの技術でドライ飲料化した商品。270g缶

JT商品のご案内

ルーツ「シンバウィンド」

190g缶／115円
(希望小売価格 消費税別)

新発売

- 2種の熱風焙煎（「新じっくり焙煎」「ふっくら焙煎」）と、進化した「HTST（高温短時間）製法」によって生まれた「力強く爽やかなコーヒーアロマ」を実感できる砂糖ミルク入り缶コーヒー。
- アロマの力強さを「王者の香り」と例え、王者にふさわしいモチーフとして百獣の王ライオンを選定。スワヒリ語でライオンを意味する“シンバ”、さらに爽快感を風に例え、「シンバウィンド」というネーミングとしました。



力強く爽やかな「王者の香り」を実感

天晴（あっぱれ）

280mlペットボトル／115円
500mlペットボトル／140円
2.0Lペットボトル／330円（希望小売価格 消費税別）

好評発売中

- 「煎茶」と、程よい甘みと旨みを味わえる「かぶせ茶」を使用し、少し濃い目に入れた本格緑茶。「煎茶・かぶせ茶」の「リーフ・茎」を絶妙なバランスで使用することで、緑茶の甘み・旨み・渋みが味わえる「ど真ん中の味」を実現しました。
- 高級な日本酒を思わせる「和紙」に包んだパッケージをイメージし、こだわり、本格感を表現しました。



煎茶・かぶせ茶のリーフと茎を使用した本格緑茶

「中華deごちそう」シリーズ 「ひとくち餃子」

20個入（260g）

リニューアル



- 豚肉100%と野菜のジューシーな旨みと、本格中華の香味が決め手のひとくちサイズの餃子です。特製の薄皮で丁寧に手包みしており、フライパン調理でパリッと歯切れのよいおいしさをいつでも楽しめます。
- 「中華deごちそう」シリーズは、「中華専門店の、あのおいしさを食卓に！」をテーマに、原料を吟味し、製法にこだわった本格派です。

さらにパリッと焼きやすく、ジューシーなおいしさに！

「お弁当大人気！」シリーズ 「まるごとえびクリーム」

4個入（100g）

好評発売中



- まるごとのえびの旨みと、アスパラ、にんじん入りの彩りのよいクリーミーなホワイトソースの組み合わせで、味も姿も上質感あふれる一品です。
- 「お弁当大人気！」シリーズは、バラエティー豊かなラインナップで、個性化、多様化するお客様のニーズにお応えしていきたいと考えています。

えびと“とろ～り”ホワイトソースの組み合わせが絶品！

●ニュース掲示板 NEWS

■ 役員報酬制度の見直しについて

JTは、2007年4月27日開催の取締役会において、役員の報酬制度の見直しを行うことを決定しました。

役員の報酬制度の見直しについては、より一層の企業価値向上に資する報酬制度を導入することを目的に、報酬諮問委員会（2006年10月設置、外部有識者2名を含む5名で構成）の審議を踏まえ、決定したものです。

今回決定しました役員報酬制度は、取締役及び監査役それぞれの職責と役割に応じたものとするを基本としています。

取締役については、業績達成への動機付けとなる業績連動性のある報酬制度とすること、株主価値の増大へのインセンティブとなる中長期的な企業価値と連動した報酬制度を導入することとします。

具体的には、執行役員を兼務する取締役の報

酬については、月例の基本報酬に加え、単年度の業績等を反映した年次賞与、中長期の企業価値と連動する株式報酬型ストックオプションで構成します。また、執行役員を兼務しない取締役の報酬については、企業価値向上に向けた全社経営戦略の決定と監督機能を果たすことが求められることから、基本報酬及び株式報酬型ストックオプションで構成します。

監査役の報酬については、主として違法監査を担うという監査役の役割に照らし、業績連動性を重視した取締役と同様の報酬制度とはせず、基本報酬に一本化します。

なお、上記の報酬制度の見直しに伴い、退職慰労金制度については、取締役及び監査役ともに、2007年6月22日開催の第22回定時株主総会終結の時をもちまして、廃止しました。

■ 青少年育成に関するNPO助成事業 2007年度助成先団体の決定について ～全国で41法人、総額約51百万円の助成を実施～

JTは、社会貢献活動の一環として、特定非営利活動法人（NPO法人）をはじめとした非営利法人が行う「青少年の育成」につながる事業に対する助成を行っています。2007年度は、全国で41法人、総額51,043,022円の助成を行うことを決定しました。

JTは、地域コミュニティの再生と活性化を推進し、より良い社会を築いていくためには、人材育成、とりわけ次世代の社会を担う「青少年の育成」が重要と考え、その健全な育成のため、地域と一体となって取り組む事業を支援しています。また、市民参加型の清掃活動「ひろえば街が好きになる運動」や「植林／森林保全活動」を展開しており、2007年度からは、NPO助成先団体の募集でも「青少年の育成」をテーマとする環境美化や環境保全に関する事

業を推奨しています。

2007年度助成対象事業の募集は、昨年10月2日から11月20日まで行い、全国から156件の応募申請があり、JTにおいて申請内容の審査を行い、最終的には社外有識者を中心に構成される「NPO助成プログラム推進委員会」を経て、2007年度助成先団体を決定しました。

JTは、今後とも、社会の一員として、社会と共生する「良き企業市民」であるを目指し、継続的に社会貢献活動に取り組んでまいります。



アスベ・エルデの会（愛知県名古屋市）
「高校生のための発達障がい児を支えるボランティアスクール」

株式の諸手続について

●名義書換をするには？

株式を購入されたり、株券保管振替制度のご利用を取り止められた時には、お早めに名義書換の手続きをお取りください。名義書換の手続きがお済みでない場合には、株主総会の招集ご通知をはじめとした各種発送物がお手元に届かないばかりでなく、配当金等のお支払いについても以前の名義の方に支払われることになります。

◎名義書換の手続き

①三菱UFJ信託銀行(株)または野村證券(株)にお越しいただく場合

三菱UFJ信託銀行(株)の本支店または野村證券(株)の本支店へ、株券と印鑑(お届出印となります)をご持参ください。その場で名義書換請求書にご記入していただき、一旦株式をお預かりして手続きをさせていただきます。手続きが終了し、お手元に株券が戻るまでには10日前後かかります。**書換手数料は不要です。**

②他の証券会社を通じて行う場合

上記以外では、証券会社でも名義書換を依頼することができます。必要なものは上記と同じですが、**書換手数料がかかります**、また場合によっては**手続きに時間がかかることもあります**ので、**手数料額・所要日数等詳しくは当該証券会社におたずねください。**

③郵便をご利用の場合

名義書換請求書を郵送するなど、名義書換に郵便をご利用になることもできます。詳しくは三菱UFJ信託銀行(株)にお問い合わせください。

●住所変更をするには？

株主総会招集ご通知、郵便振替支払通知書(配当金計算書)、株主優待商品等のご登録の住所宛にお送りさせていただいております。引越し等により、ご住所に変更があった場合には、三菱UFJ信託銀行(株)または野村證券(株)へ速やかにお届出をお願いいたします。

なお、株券保管振替制度をご利用の株主様は、お取引の証券会社等で手続きをお取りください。

◎住所変更の手続き

①三菱UFJ信託銀行(株)または野村證券(株)にお越しいただく場合

三菱UFJ信託銀行(株)の本支店または野村證券(株)の本支店へ、お届出印をご持参ください。その場で変更届にご記入し、ご提出していただきますと、手続きをさせていただきます。手数料は不要です。

②郵便をご利用の場合

三菱UFJ信託銀行(株)にお電話いただきますと、変更届をお送りいたしますので、必要事項をご記入のうえ、ご返送ください。株券のご提出は不要です。ご返送の費用についてはご負担いただくこととなりますが、それ以外には手数料はいただきません。

●配当金の受取方法は？

①配当金のお受取方法の種類

配当金のお受取方法については、現金受取と口座振込がございます。**口座振込をご選択いただきますと安全かつ確実に配当金をお受取いただけます。**

現金受取をご選択の株主様には、郵便局で受取ができる証書(郵便振替支払通知書)をお送りいたしますので、お近くの郵便局でお早めにお受取ください。

口座振込をご選択の株主様には、あらかじめご指定いただいた銀行・郵便局等の口座に配当金が直接振り込まれます。また、期末(中間)配当金計算書もお送りいたします。

②現金受取から口座振込への変更

現在、現金受取を選択されており、これから金融機関等への口座振込を希望される株主様は、当社の株主名簿管理人であります三菱UFJ信託銀行(株)へご連絡ください。

●配当金関係の書類が届かない場合、または郵便振替支払通知書を紛失した、あるいは払渡し期間を過ぎてしまった場合は？

上記の理由等により、配当金をお受取いただけなくなっている株主様は、当社の株主名簿管理人であります三菱UFJ信託銀行(株)へご連絡ください。

株式の諸手続きについてのお問い合わせ先は

当社株式の手続きにつきましては、下記、当社の株主名簿管理人であります三菱UFJ信託銀行(株)までお問い合わせください。また、同行本店及び全国各支店ならびに野村證券(株)全国本支店におきましても各種手続きのお取次ぎをいたしますのでご利用ください。

なお、住所変更、配当金振込指定・変更に必要な各用紙及び株式の相続手続依頼書のご請求につきましては、フリーダイヤル(0120-244-479)で24時間承っておりますので、ご利用ください。

●お問い合わせ先

三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
フリーダイヤル 0120-232-711
(受付時間 土・日・祝日を除く 9:00～17:00)
郵便物送付先
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
〒137-8081
東京都江東区東砂七丁目10番11号
各種手続用紙のご請求
フリーダイヤル 0120-244-479
(三菱UFJ信託銀行(株) 24時間テレホン自動音声応答サービス)

■役員(2007年6月22日現在)

取締役

取締役会長 涌井 洋治
代表取締役社長 木村 宏
代表取締役副社長 小幡 一衛
代表取締役副社長 武田 宗高
代表取締役副社長 熊倉 一郎
代表取締役副社長 山田 良一
取締役 大久保憲朗
取締役 岩井 睦雄
取締役 小泉 光臣
取締役 新貝 康司
取締役相談役 本田 勝彦

監査役

常勤監査役 住川 雅明
常勤監査役 立石 久雄
監査役 村山 弘義
監査役 藤田 太寅

執行役員

社長 (企画・CSR・人事・監査担当)
副社長 (財務責任者 兼 コンプライアンス・食品事業担当)
副社長 (たばこ事業本部長 兼 特機事業担当)
副社長 (コミュニケーション・総務・法務担当)
副社長 (法務責任者)
専務執行役員 (たばこ事業本部 副本部長)
常務執行役員 (たばこ事業本部 マーケティング&セールス責任者)
常務執行役員 (たばこ事業本部 製造統括部長)
常務執行役員 (たばこ事業本部 原料統括部長)
常務執行役員 (たばこ事業本部 渉外企画責任者)
常務執行役員 (医薬事業部長)
常務執行役員 (医薬事業部 医薬総合研究所長)
常務執行役員 (食品事業本部長)
常務執行役員 (人事責任者)
常務執行役員 (コミュニケーション責任者)
執行役員 (たばこ事業本部 研究開発統括部長)
執行役員 (たばこ事業本部 ブランド統括部長)
執行役員 (たばこ事業本部 製品開発統括部長)
執行役員 (たばこ事業本部 事業企画室長)
執行役員 (食品事業本部 飲料事業部長)
執行役員 (食品事業本部 食品事業部長)
執行役員 (企画責任者)
執行役員 (総務責任者)

木村 宏
小幡 一衛
武田 宗高
熊倉 一郎
山田 良一
下村 隆一
渡邊善治郎
小泉 光臣
飯島 謙二
久野 辰也
佐藤 誠記
大久保憲朗
石黒 繁夫
岩井 睦雄
村井 良行
志水 雅一
前島 宏敏
藤崎 義久
岩波 正
佐伯 明
塩澤 義介
日野三代春
古谷 貞雄
西野 和博

■株価の推移 1994年10月27日上場～2007年5月 当社株価(東証終値,月間)

